

平成 29 年 度

安城市の教育

安城市教育委員会

平成 2 9 年 8 月 発行 1 5 0 部

平成 2 9 年 度

安 城 市 の 教 育

編集・発行 安城市教育委員会
〒 4 4 6 - 0 0 4 5
安城市横山町下毛賀知 1 3 番地 1
電話 (0 5 6 6) 7 1 - 2 2 5 3
FAX (0 5 6 6) 7 7 - 0 0 0 1

安 城 市 民 憲 章

(昭和47年制定)

わたくしたちは安城市民です。

わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

青少年をすこやかにはぐくむ都市宣言

(昭和57年6月8日)
議 決

あすの安城市を築く青少年が、豊かな情操と正しい社会性を持ち、心身共にたくましく育つことは、市民すべての願いである。

この願いを実現するため、市民ひとりひとりが姿勢を正し、青少年をとりまく環境及び諸問題への関心と認識を深め、相互の連帯を強めることによって、青少年が情熱と自覚と責任を持って行動できるよう見守っていく必要がある。

ここに市民の総力を結集し、次代を担う青少年の健全育成をめざし、安城市を「青少年をすこやかにはぐくむ都市」とすることを宣言する。

市 章



(昭和35年に制定)

安城の「安」を图案化したもので、下部を末広がりにし発展を象徴、丸く囲んだのは円満・和を象徴しています。

市 の 木 (クロマツ)



〔市民投票
昭和47年に制定〕

かつての安城ヶ原は、小松の原野であり、現在の安城の緑の主体となっています。旧東海道の松並木は、400年の歴史を秘めて、市の文化財に指定されています。

市 の 花 (サルビア)



〔市民投票
昭和47年に制定〕

だれにでも作りやすく、家庭や学校の花壇に多く栽培され市民に親しまれています。夏から秋にかけて燃えるような赤い花をつけ、躍進著しい安城をしのばせます。

シンボルマーク



〔公募
平成4年に制定〕

安城の頭文字「A」を图案化したもので、青と緑の2色。未来に向かった大空と大地をイメージし、調和と力強い発展を表現しています。

はじめに

本年度は第8次安城市総合計画「幸せつながる健幸都市安城」がスタートして2年目を迎えます。安城市は人口増加が続き、比較的若い世代が多い市ですが、これからも多様な世代の市民すべてが健康で幸せ、すなわち「ケンサチ」を重視していくことが大切であると考えています。その考えを「健康・環境・経済・絆・子ども」の5つのキーワード（5K）の視点から改革を進めてまいります。

5Kのうちの「子ども」という点からすると、昨年度より市独自の少人数学級推進事業として、35人学級を小学4年生まで拡大しています。小学1、2年生で行っている30人程度学級、3年生の35人学級と相まって、子どもたちにより細やかな指導ができるものと考えています。また、急増する日本語教育が必要とされる子どもたちの対応として、日本語初期指導教室を本年度より開設します。日本語の話せない子が少しでもコミュニケーションがとれるようになり、学校生活に早くなじんでいけるように専門的な技術をもつ指導員による指導を行っていきます。

また、本年度の大きなテーマとして、今年6月に開館したアンフォーレ（図書情報館）との連携があります。教育委員会としましては、図書館教育アドバイザーを設置し、学校との連携を充実させていきます。増員された学校司書を有効に活用しながら、子どもたちがより読書に親しみをもてるように、子どもたちのニーズにあった書籍の提供ができるようになればと考えています。

教育環境面においては、老朽化した校舎の改修を計画的に行い、エレベーターを順次設置していくなどバリアフリー化を推進しています。また、全小中学校のトイレの全面改修を順次進めるなど、安全で快適な環境で学習できるよう整備を進めてまいります。

さらに、学習指導でのICT活用の推進を図るため、昨年度中に市内の全小中学校に、40台ずつのタブレットを配備しました。これらを導入することにより、子どもたちの学習に対する知的な興味・関心を高め、学び合いによる教育活動を幅広く展開することができると考えています。また、一昨年度より教員を海外に派遣し、ICT教育の先進校の視察を行っています。海外における最先端のICT教育の技術が安城にも生かされることを期待しています。ICT教育の推進は、これからの時代を生きる子どもたちにとって、学力向上という面だけでなく、あふれる情報から自分に必要な情報を取捨選択できる能力を高めることにも期待しています。

ここに「平成29年度版 安城市の教育」を刊行いたしました。この冊子を通じて安城の教育文化に対する理解を深めていただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

目 次

はじめに

I 安城市の概要	1
II 教育委員会	2
1 教育委員会委員	2
2 教育委員会の組織及び事務分掌	3
(1) 教育委員会の組織と職員数	3
(2) 事務分掌	4
3 教育費予算額等の推移	6
(1) 教育費当初予算額の推移	6
(2) 教育費決算額の推移	7
III 学校教育	8
1 学校教育の推進	8
(1) 教育実践の活動	8
(2) 教育センターの活動	17
(3) 視聴覚センター	21
2 児童生徒と教職員	22
(1) 幼、小、中学校児童生徒数	22
(2) 教職員数	24
(3) 中学卒業者の状況	25
(4) 児童生徒数推計	25
3 心身の健全育成活動	25
(1) 学校教育関係体育行事	25
(2) 学校保健	26
(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター	26
(4) 生徒指導推進の組織	26
4 野外教育活動	27
5 就学・奨学制度	28
(1) 奨学金制度	28
(2) 私立高等学校等授業料補助	28
(3) 就学援助	28
(4) 特別支援教育就学奨励	29
(5) 幼稚園就園奨励	29
(6) 幼稚園第三子無料化	29
6 学校施設の設置状況	30
7 学校給食	31
(1) 学校給食の目標	31
(2) 学校給食の組織	31
(3) 調理場施設及び調理数	32
(4) 給食実施計画	32
(5) 食に関する指導	32
(6) 給食費の推移	33
(7) 給食内容	33
(8) アレルギー対応	33
(9) 第3子以降給食費無料化	
事業について	33

IV 生涯学習	34
1 生涯学習	34
(1) 生涯学習の目標	34
(2) 青少年教育	34
(3) 市民憲章の推進	40
(4) 社会教育施設・団体等	40
2 公民館	42
(1) 公民館組織	42
(2) 公民館事業	43
(3) 公民館等施設	46
(4) プラネタリウム	47
(5) 利用状況	48
3 市民会館	50
(1) 市民会館の概要	50
(2) 利用状況	50
4 図書情報館	51
(1) 図書情報館事業の目標	51
(2) アンフォーレ（図書情報館） の施設概要	51
(3) 蔵書の構成及び冊数	52
(4) 登録者・入館者の状況	52
(5) 図書館事業の状況	53
5 歴史博物館	55
(1) 目標	55
(2) 館蔵資料	55
(3) 施設概要	56
(4) 利用状況	57
6 埋蔵文化財センター	58
(1) 概要	58
(2) 利用状況	58
7 市民ギャラリー	59
(1) 概要	59
(2) 利用状況	60
(3) 文化振興	61
8 丈山苑	63
(1) 概要	63
(2) 利用状況	64
9 文化財保護事業	65
(1) 目標	65
(2) 指定文化財	65
10 史料整理活用事業	66
(1) 調査・収集資料	66
(2) 教育普及活動	66
11 スポーツ	67
(1) スポーツ振興の基本方針	67

(2)	「する」スポーツの振興	-----	67
(3)	「みる」スポーツの振興	-----	72
(4)	「おしえる」スポーツの振興	----	72
(5)	「ささえる」スポーツの振興	----	72
(6)	スポーツ施設環境の整備	-----	73
(7)	スポーツ団体等の育成・支援	----	74
(8)	オリンピック・パラリンピック を契機としたスポーツの振興	—	75
(9)	体育施設	-----	77
(10)	利用状況	-----	79

付 録

1	歴代の委員	-----	82
2	教育委員会の沿革	-----	85
3	教育関係施設・休館日一覧	-----	94